

直方市IoT推進ラボ

事業の内容

事業目的・概要

○直方市IoT推進ラボでは、市内の中小企業が人手不足の課題を抱える中、IoT及びAIの技術を導入することにより、生産性を向上させ、課題を克服すると共に、地場企業の付加価値を増大させ、延いては、地域経済の活性化へと繋げる。

○直方市及び直鞍産業振興センターが中心となり、市内の各企業団体と連携をして、市内のIoT化を進めるべき地域課題を抽出し、福岡県の協力の下、県内のITベンダーとのマッチングを進め、IT技術を活用して、生産性を向上させる。

重要業績評価指標(KPI)

- 市内企業とITベンダーのマッチング件数:10件/年間
- 市内企業とITベンダーの成約件数:5件/年間
- 成功事例を創出し、横展開を図る件数:2件/年間

今後の展開

- 企業ニーズ及び企業の生産上の課題は直方市IoT推進ラボが把握し、入口部分であるITベンダーとのマッチングを進め、その後は、各企業が独立してIoT化を進めて行き、自立化を図る。

事務局

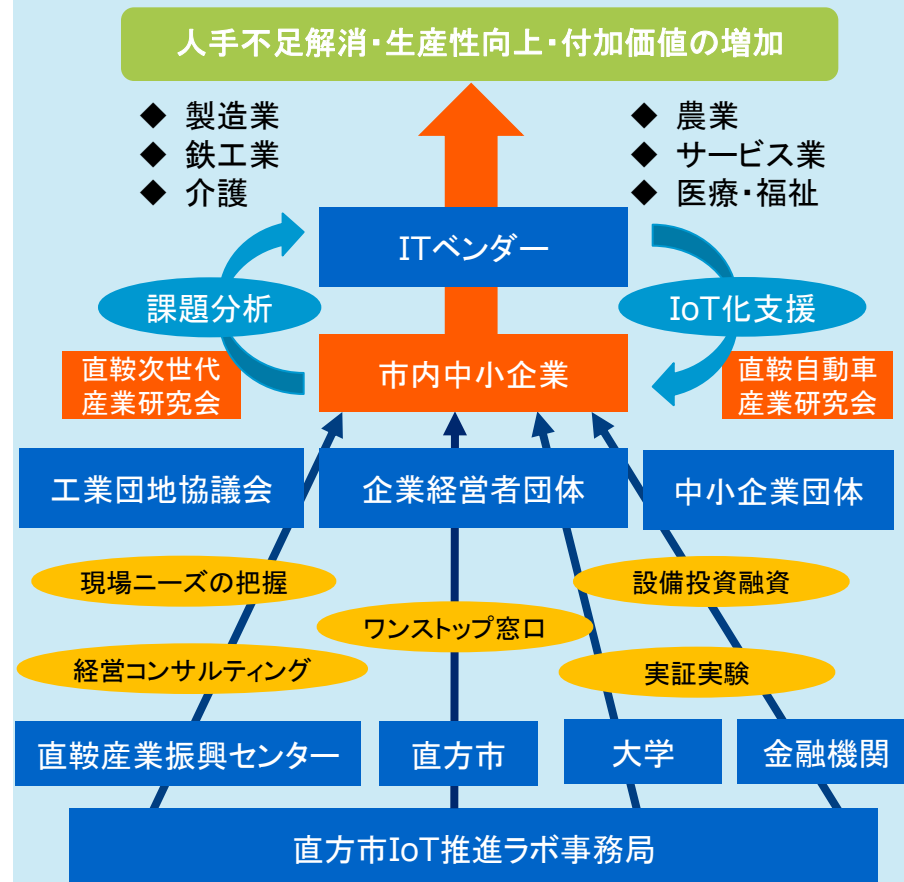
- 直方市IoT推進ラボ事務局(直鞍産業振興センター別館内)

参加プレイヤー

- 直鞍産業振興センター(ADOX福岡)
- 直鞍次世代産業研究会・直鞍自動車産業研究会
- 各企業団体・金融機関・大学

事業イメージ

直方市IoT推進ラボ
人手不足解消と新たな付加価値を創出するIoT推進ラボ



✓ マッチング事業、IT人材育成、広報